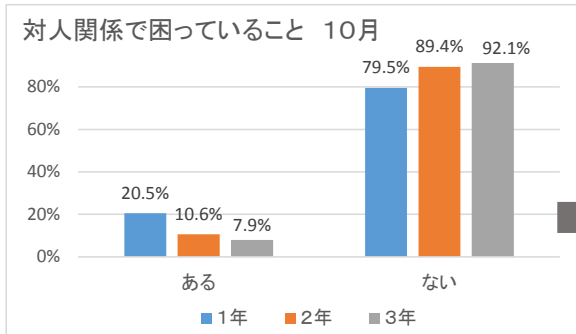


メンタル面・困り感

《1年》

- ・学校に行きたくないときがある生徒は、「しばしば、ときどき」を合わせると44.6%もあり、5月と比べ倍増している。
- ・対人関係で、「気持ちの切り替え」「友達づきあい」に困難さを感じている生徒が他学年より多い。
- ・心配事・悩みの内訳は、将来のこと26.5%、勉強・学習30.1%と5月より倍増している。
⇒5月と比べ、高校生活に慣れ対人関係やより良い人間関係を維持するための悩みが出てきていることがうかがえる。



○対人関係の困り感

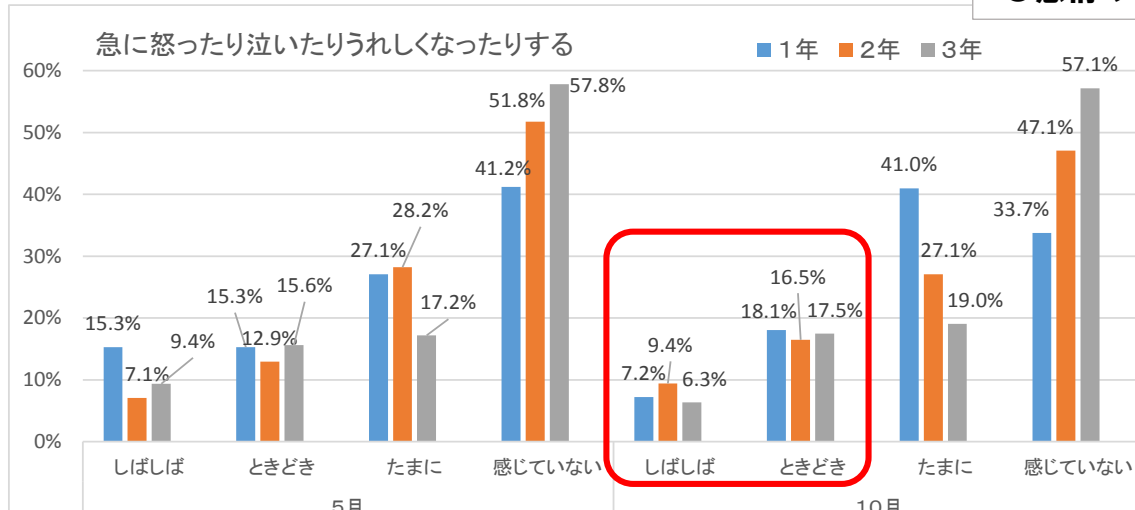
	「対人関係で困っていること」の内訳 (人数)					気持ちの切り替え	友達と協力
	笑いのずれ	からかい	友達いない	友達づきあい	予定変更による混乱		
1年	1	3	1	9	1	10	2
2年	2	0	1	2	1	5	0
3年	0	0	1	3	0	4	1
合計	3	3	3	14	2	19	3

《2年》

- ・みんなと仲良くできないと感じている生徒は、「しばしば、ときどき」を合わせ5月より増加。
- ・「急におこったり、泣いたり、うれしくなったりする」と感じている生徒は、5月は20%と全学年で一番少なかったが、10月は25.9%で一番多い。
- ・対人関係で困っていることとして、(選択肢以外に)「話が合う人がいない」「嫌いな人と関われない」「接し方がわからない」の記述があった。

⇒ちょうど研修旅行が終わった後で学校祭が近づいて、2年生は他学年より大きな行事があった時期である。意思疎通がうまくいかなかったり、意見のくい違いなども見られた時期であり、そういったことが影響して対人関係での困り感が多く出たものと考えられる。

○感情の不安定さ



《3年》

- ・「やればできる」としばしば感じている生徒は5月より増加。
- ・「自分のことが好き」としばしば、ときどき感じている生徒は、5月は3年生が一番少なかったが、10月は最も多く25.3%である。
- ・対人関係で困っていることがない生徒は、92.1%で全学年で一番多い。
- ・「将来」への悩みを感じている生徒は一定数いるものの、心配事や悩みは5月より1割減少した。
⇒5月調査では、学校に行きたくなかったり、人間関係形成や自己肯定感の低さ等の課題があったが、10月は改善されている。この理由としては、進路決定した生徒が増え、達成感を感じたり安定した学校生活を送ることができていることが考えられる。